



『百年の家』

J. パトリック・ルイス/作
ロベルト・インノチェンティ/絵
長田 弘/訳
講談社

一軒の古い家の自分史のような書き出しから始まる絵本。定点観測様式の画面構成で、家と人々の百年を描いています。見開きいっぱい描かれた家と人々から、時間の流れや人間の生きる力を感じる絵本です。

E
イン



『あずきとき』

京極 夏彦/著 町田 尚子/絵
岩崎書店

作者はあの京極夏彦さん。京極さんがお届けするのは、もちろん、『こわい絵本』。今回は『京極夏彦の妖怪えほん』シリーズから『あずきとき』をご紹介します。色鮮やかな絵と斬新な画面構成、単調な文体が恐怖をあおります。シリーズの他作品も、ぜひお読みください！

E
マテ

Picturebooks for TEENS.

ティーンズのあなたにも、未来の大人になったあなたにも、読んでもらえる絵本を集めました。

『ハッピーハンター』

ロジャー・デュボアサン/作
安藤 紀子/訳
ロクリン社

森のはずれの小さな家に住んでいるボビンさん。ある日勇ましいハンターを見て、自分も狩りに出かけます。けれどボビンさんは一向に動物を仕留めません。しあわせの形について考えさせてくれる絵本です。

E
テュ



『追跡！なぞの深海生物』

481

藤原 義弘/写真・文
あかね書房

科学の本って難しそう…そう思っているあなたには、フルカラーの科学絵本がおすすめ！こちらは深海についての本です。深海生物たちの個性豊かな姿や生態をきれいな写真と分かりやすい説明で紹介しています。これなら勉強もはかどるかも！？ぜひ一度手に取って読んでみてくださいね！



『いつでも会える』

菊田 まりこ/作 学研

イヌのシロはミキちゃんが好き。でもある日、突然ミキちゃんがいなくなりました。どんなに探してもミキちゃんはいない。かなしくてかなしくて、シロが目をつむると…誰かを大切に思うこと、誰かとお別れすること、そんな出会いと別れについて考えさせてくれる絵本です。流山市『緩和ケアのための100冊』にも選ばれた一冊です。

E
キ

『うろんな客』

エドワード・ゴーリー/著
柴田 元幸/訳
河出書房新社

とある一家の元に突然やってきたカギ鼻あたまのヘンな生き物…彼は一体何者？シュールでナンセンスな作風で有名なエドワード・ゴーリーの初期作品であり、代表作のうちの1つです。

726

『それなら』

いいいえありますよ』

澤野 秋文/著 講談社

ぎんたの部屋はものがいっぱい散らかり放題！でも、ぎんたはそんなことまったく気にしていません。そこへやってきた野良猫のちゃまるが、実は腕利きの不動産屋だと知ったぎんたは、自分も引っ越すことを思い立ちますが…ちょっとドキッとさせられる、落語みたいな絵本です。あなたも引っ越し、必要ですか？

E
サ7



『アフガニスタン 勇気と笑顔』

内堀 たけし/写真・文 国土社

アフガニстанは中国の西に位置する国です。ニュースなどでもよく耳にする国の名前ですが、どんな国か、みなさんは知っていますか？いまだ安定しないその国で、人々は様々な表情で生き、生活しています。この絵本は、その様子を『写真絵本』としてまとめています。2020年冬に新版も出版された、平和について考えさせてくれる絵本です。

E
ウ

